

安全データシート(SDS)

作成 2009-08-11
改訂 2016-06-01

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 フラッシュパール
供給者の会社名 株式会社ナカニシ
住所 栃木県鹿沼市下日向700
担当部門 品質保証部
電話番号 0289-64-3380
FAX番号 0289-62-5636
推奨用途及び使用上の制限 歯面の清掃・研磨

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 可燃性固体 区分外
自然発火性固体 区分外
自己発熱性化学品 区分外
水反応可燃性化学品 区分外

健康有害性 急性毒性(経口) 区分外
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(血液系)

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告
危険有害性情報 長期にわたる、又は反復ばく露による血液の障害のおそれ

注意書き
安全対策 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
応急措置 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
保管 換気の良い場所で保管すること。
廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
炭酸カルシウム	約94%	CaCO ₃	(1)-122	既存	471-34-1
フッ化カルシウム	<0.5%	CaF ₂	(1)-179	既存	7789-75-5
硝酸カルシウム	<0.5%	Ca(NO ₃) ₂	(1)-188	既存	10124-37-5
硝酸アンモニウム	<2%	NH ₄ NO ₃	(1)-395	既存	6484-52-2
リン酸カルシウム	<0.5%	Ca ₃ (PO ₄) ₂	(1)-183	既存	7758-87-4
炭酸ストロンチウム	<1.5%	SrCO ₃	(1)-171	既存	1633-05-2

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物
(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、
第2号・別表第9)

硝酸アンモニウム
(政令番号:308)(10%未満)

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師に連絡すること

5. 火災時の措置

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照) を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 風上に留まる。 低地から離れる。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険でなければ漏れを止める。 物質を吸込み又は掃き取って廃棄用容器に入れること。 除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避 衛生対策	『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	

安全な保管条件 特別に技術的対策は必要としない。
安全な容器包装材料 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2015年版)	ACGIH (2015年版)
炭酸カルシウム	未設定	未設定	未設定
フッ化カルシウム	未設定	未設定	TWA 2.5mg/m ³ (as F)
硝酸カルシウム	未設定	未設定	未設定
硝酸アンモニウム	未設定	未設定	未設定
リン酸カルシウム	未設定	未設定	未設定
炭酸ストロンチウム	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

密閉する設備又は局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具 保護手袋を着用すること。
眼の保護具 適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 不浸透性の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	固体
	形状	粉末
	色	白灰色
臭い		無臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		約8.5(10%)
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		引火性なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		該当しない
燃焼性(固体、気体)		可燃性なし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		揮発性なし
蒸気密度(空気=1)		データなし
比重(密度)		約2.5 g/cm ³
溶解度		水に若干溶解する。酸に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		可燃性なし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性 フッ素ガスを近づけると発火する恐れがある。
化学的安定性 通常の保管および取扱いの条件においては安定である。
危険有害反応可能性 過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件 情報なし
混触危険物質 情報なし
危険有害な分解生成物 加熱および酸との接触により、二酸化炭素、酸化カルシウムが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、フッ化カルシウム 4250mg/kg、硝酸アンモニウム 2450mg/kg、炭酸カルシウム >2000mg/kg、硝酸カルシウム 9285mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が5056.49mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。 (混合物の約3%は毒性が未知の成分からなる。)
	経皮	データ不足のため分類できない。
	吸入(粉じん)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性		データがなく分類できない。
皮膚感受性		データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		成分濃度が濃度限界($\geq 1.0\%$ 、 $< 10\%$)の区分1の成分は硝酸アンモニウム(血液系)であるため、GHS:区分2(血液系)「長期にわたる又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ」に該当する。
吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	データがなく分類できない。
水生環境有害性(長期間)	データがなく分類できない。
生態毒性	情報なし
残留性・分解性	石化する。
生体蓄積性	生物濃縮性なし。
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
国内規制	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非危険物
	航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。	

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号 なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)(硝酸アンモニウム)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9)(硝酸アンモニウム)

水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)

土壤汚染対策法

特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)(ふっ素及びその化合物)

労働基準法

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)(弗素及びその無機化合物)

16. その他の情報

連絡先

株式会社ナカニシ

参考文献

NITE GHS分類公表データ

RTECS

ECHA C&L Inventory Database

ECHA Registered substances Database

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。